

2017年12月27日

各位

株式会社 三井住友銀行

イオンリート投資法人に「S M B C環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、イオンリート投資法人（執行役員 塩崎 康男）に対し「S M B C環境配慮評価融資」を実施致しました。

「S M B C環境配慮評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：淵崎 正弘）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった、イオンリート投資法人の環境配慮に関する取組への評価においては、「環境負荷の把握の状況」「環境マネジメント」「環境保全対策の取組の状況」などの面で高い水準であると判断され、資産運用において良好な環境配慮を実施されている、「A」の評価結果になりました。

特に、今回の評価に当たっては、以下の点等が高く評価されました。

保有不動産におけるエネルギー使用量等の主な環境負荷を施設毎に月単位で把握し、前年同月比で5%以上の乖離があった場合は、増減理由を施設側に確認するなど、増減要因を精緻に分析しておられる点

資産運用会社において「サステナビリティに関する方針」を掲げ、資産運用を通じて環境や地域コミュニティに配慮する姿勢を明確にしておられる点

具体的な環境配慮の取組として、照明設備のLED化等の省エネ改修投資を積極的に実施するとともに、EV充電器が未設置の施設に対しては、他施設での設置事例を紹介するなど、積極的に働きかけておられる点

三井住友銀行では、REITに対して「S M B C環境配慮評価融資」を取り組むことで、本業を通じ、環境に配慮した社会の実現に貢献をして参ります。

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。